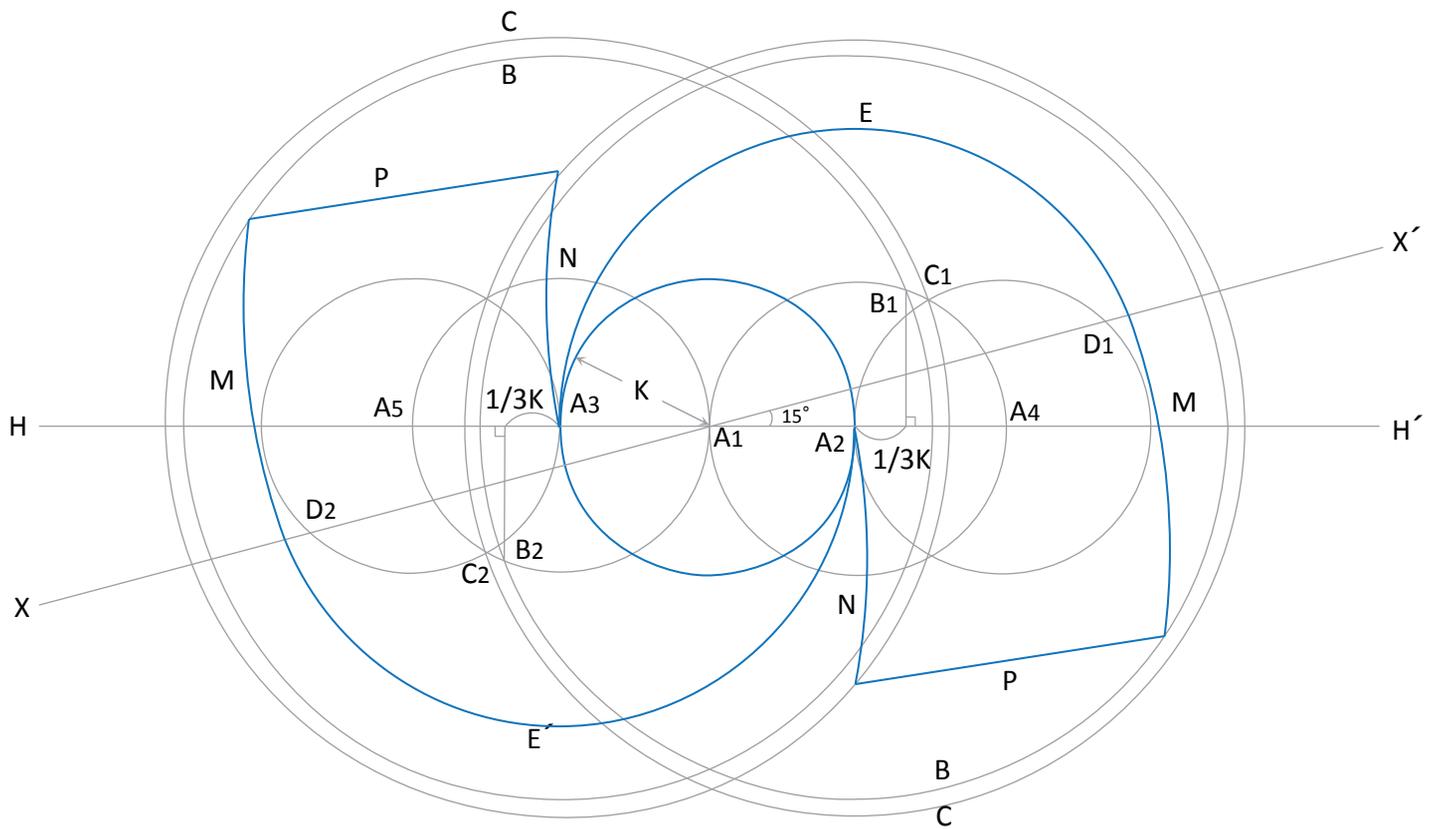


# いわき市章の作図方法 (昭和42年作成資料を一部編集)



1. 水平線H-H'に $15^\circ$ の斜線X-X'を描き、その交点を点A<sub>1</sub>とする。
2. A<sub>1</sub>を基準に、円A<sub>1</sub>、円A<sub>2</sub>、円A<sub>3</sub>、円A<sub>4</sub>、円A<sub>5</sub>を描き、それぞれの半径をKとする。
3. 2Kを半径とし、点A<sub>2</sub>および点A<sub>3</sub>を中心に、円Eおよび円E'を描き、X-X'線上当とどめる。
4. 点A<sub>2</sub>の右および点A<sub>3</sub>の左に、それぞれ $1/3K$ の点を取り、その点よりH-H'に垂直な線と円A<sub>2</sub>、円A<sub>3</sub>との交点を点B<sub>1</sub>、点B<sub>2</sub>とし、点A<sub>2</sub>、点A<sub>3</sub>を中心に点B<sub>1</sub>、点B<sub>2</sub>を通る円Bを描く。
5. 円A<sub>2</sub>と円A<sub>4</sub>の交点、円A<sub>3</sub>と円A<sub>5</sub>との交点を点C<sub>1</sub>および点C<sub>2</sub>とし、点A<sub>2</sub>、点A<sub>3</sub>を中心として、円Cを描く。
6. 点B<sub>1</sub>および点B<sub>2</sub>を中心として円弧Eおよび円弧E'に接続する円弧Mを描き、円B上当とどめる。
7. 円A<sub>4</sub>および円A<sub>5</sub>の線上当X-X'と合わさる点D<sub>1</sub>、点D<sub>2</sub>を求め、点D<sub>1</sub>、点D<sub>2</sub>を中心として点A<sub>2</sub>、点A<sub>3</sub>から円弧Nを描き、円C上当とどめる。
8. 線Pを描く。